

一般質問

子育て支援策の充実

問 原田和幸 議員

子育てしやすい町づくりは、若者定住促進に欠かせません。医療費の無料化など永続的な子育て支援策を町独自で進めています。町内事業所限定の「子育てクーポン券」の発行など、更なる充実を図る考えがないか、ご所見を伺います。

答 林 直樹 町長

本町の子育て支援策につきましては、小清水町次世代育成支援行動計画に基づき推進していくこととしており、子育てしやすい町づくりを推進



するため、子育て支援サービス・ネットワークの充実、保育サービスの充実、児童の健全育成及び健康の確保等を図るための施策を町独自の施策を含め、実施しているところでございます。

また、国におきましては、本年4月より次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で応援する制度として、子ども手当が創設されたところでございます。

子ども手当が創設されてからの全国的な動向としては、市町村独自の子育て支援施策が「子ども手当の趣旨と重複する」、「財政事情が苦しい」などの理由から廃止又は縮小する動きがある一方で、

クーポン券の発行等子育て支援策の拡充の動きもあるところでございます。

町としては、平成23年度以降の子ども手当制度がどうなっていくのか国の動向に注視したいと考えておりますが、子ども手当制度の創設を機会

地方自治の進展、地域の発展に大きく貢献

奥村 誠氏

北海道町村議会議長会表彰を受賞

多年に亘り、小清水町議会議員として、本町の発展と地域の地方自治に尽くされてきた奥村誠氏に、北海道町村議会議長会より自治功労者表彰が贈られました。



として、町全体の施策バランス及び子育て支援策のあり方について再検証し、議員からのご提案も一つの手法として、更なる子育て支援策の充実を図るため検討していきたいと考えております。

同氏は昭和62年に、町議会議員に初当選して以来、連続6期23年間、うち平成7年から4年間は副議長として、また平成19年5月から議長を務められています。

この間、議員間の調整に尽力し、議会議員の模範を示すなど、適正な議会運営に取り組まれたことが認められ、同表彰が贈られました。この度の受賞、おめでとうございます。

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

編集 議会報編集特別委員会

委員長 遠藤 満夫

副委員長 下平 正吾

委員 原田 和幸、林 幸雄、橋 隆文、八木 勝正

記載内容のお問い合わせは議会事務局までお問い合わせ願います。